

平成 31 年度

岡山大学環境理工学部第 3 年次編入学

学 生 募 集 要 項

岡山大学環境理工学部

連絡先 岡山大学環境理工学部事務室 教務担当
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1 番 1 号
電 話 (086) 251-8815

目 次

	ページ
1 募集人員等	1
2 出願資格	1
3 障がい等のある方の出願	1
4 出願手続	1
5 受験票の交付	3
6 入学者選抜方法等	3
7 合格者発表及び入学確約書の提出	4
8 入学手続	4
9 その他	4
岡山大学環境理工学部環境数理学科の学士課程教育における方針	6
1) 学位授与方針 (ディプロマポリシー)	
2) 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)	

1 募集人員等

学 科	募集年次	募集人員
環境数理学科	第3年次	1人

2 出願資格

次のいずれかに該当する者又は平成31年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者（外国の大学を卒業した者及び外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ② 短期大学を卒業した者（外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ③ 高等専門学校を卒業した者
- ④ 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
注：学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程とは、修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上（単位制及び通信制による学科の場合は課程の修了に必要な総単位数が62単位以上）の専門課程のことです。
- ⑤ 大学に2年以上在学し（休学期間を除く）62単位以上修得した者

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	平成30年 4月 6日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求し、医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学環境理工学部事務室 教務担当 電話（086）251-8815

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。出願に使用する封筒は各自で用意の上、朱書きで「環境理工学部第3年次編入学試験出願書類在中」と封筒の表面に記載してください。

(2) 出願期間

平成30年 5月14日（月）～ 5月22日（火）

出願の方法は郵送とし、平成30年5月22日（火）17時までに必着とします。これ以降に到着したものは、平成30年5月21日（月）までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。ただし、平成30年5月22日（火）に限り、9時00分から17時00分まで次の(3)の提出先への持参による出願を認めます。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
 岡山大学環境理工学部事務室 教務担当
 電話 (086) 251-8815

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、編入学願書に記載した氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新・旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 編入学願書（様式1）, 受験票・写真票	所定用紙に、編入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真（2枚）	縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を、「編入学願書」及び「写真票」の所定欄のりで貼り付けてください。（貼る前に、写真の裏面に志望学科名と氏名を記入してください。）
③ 入学検定料	<p>30,000円（振込手数料が別に必要です。）</p> <p>入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。）窓口（ATMは利用できません。）からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を「入学検定料振込証明書貼付票」の所定欄のりで貼り付けてください。</p> <p>【入学検定料の返還について】</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p>
④ 学業成績証明書	最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑤ 志望理由書（様式2）	本学部所定の様式（様式2）に、編入学志願者本人が、自筆（黒のボールペン）で記入してください。

⑥ 卒業（見込）証明書 ※該当者のみ	出願資格①②③に該当する者は、最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑦ 出願資格を確認できる 証明書 (様式3又は様式4) ※該当者のみ	出願資格④に該当する者は、専修学校が発行する「修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上（単位制及び通信制による学科の場合は課程の修了に必要な総単位数が62単位以上）の専門課程」を修了（見込み）である出願資格の証明書（様式3）を提出してください。
	出願資格⑤に該当する者は、「大学に2年以上在学し（休学期間を除く）62単位以上修得（見込み）」である出願資格の証明書（様式4）を提出してください。
⑧ 封筒（受験票送付用） (編入学志願者が各自で用意してください。)	封筒（長形3号）を各自準備のうえ、表面に編入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、362円分の切手を貼付したものを提出してください。

(6) 個人情報の利用目的

出願書類等及びこれに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。

- ・ 入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学学部・学科等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、入学者のうち、入学料徴収猶予申請書、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報をそれぞれの学力判定処理に利用することがあります。
- ・ 合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理システム及び授業料免除事務システムで利用します。

5 受験票の交付

(1) 受験票は、平成30年5月25日（金）頃に、入学志願者本人あてに発送します。

なお、平成30年6月1日（金）までに到着しない場合は、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学環境理工学部事務室 教務担当 【電話 (086) 251-8815】

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、試験後も大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

(1) 試験科目及び配点

学 科	試 験 科 目		内 容 等	配 点	
環境数理学科	筆記 試験	専門科目 (数学)	大学1年次の微分積分及び線形代数について、基礎的な理解を問う問題を出題します。	100点	200 点
	面 接 (口述試験を含む)		志望理由の他に、これまで学んできた内容について質問を行います。	100点	

※ 面接の評価には、書類審査の評価が含まれます。

(2) 試験日程

試験日	試験科目		試験時間
平成30年6月9日(土)	筆記試験	専門科目(数学)	13時00分～14時30分
	面接(口述試験を含む)		15時00分～

※ 定められた試験科目を1科目でも受験しない場合は、失格とします。

(3) 試験会場

岡山大学環境理工学部 【岡山市北区津島中三丁目1番1号】

〈試験会場への経路〉

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番のりばから岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大西門」で下車(バス所要時間約10分)。
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番のりばから岡電バス【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きのいずれかに乗車、「岡山大学筋」で下車、徒歩約15分(バス所要時間約10分)。
- ③ JR津山線「法界院駅」で下車、徒歩約10分。

※ 記載のバス所要時間は、通常の交通状況での見込み時間です。

7 合格者発表及び入学確約書の提出

- (1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
平成30年7月5日(木) 10時00分の予定	環境理工学部玄関前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書及び入学確約書等を本人あてに郵送します。
- ② 掲示による合格者発表後、環境理工学部ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.est.okayama-u.ac.jp/>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法
入学確約書を提出した者(入学確約者)に対して、「入学案内」を郵送します。
- (2) 入学手続期間
平成30年11月中旬(具体的な日程は、入学確約者に対して改めて通知します。)

9 その他

- (1) 入学料及び授業料
入 学 料 282,000円〔予定額〕
授 業 料 267,900円(年額535,800円)〔予定額〕
※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- (2) 修学援助
修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

(3) 編入学の時期・修業年限等

- ① 編入学の時期は、平成31年4月です。
- ② 修業年限は2年です。ただし、第3年次終了時までには本学部で定める所定の単位等（下記③）を修得しなかった場合は、3年以上必要となります。なお、最長在学年数は4年とします。
- ③ 本学部では、下表のとおり第4年次の必修科目「卒業論文」の履修要件を課しています。

学 科	卒 業 論 文 履 修 要 件
環境数理学科	1. 次の各単位を修得していること (1) 卒業要件として認められる単位 96単位以上 (2) 教養教育科目（言語科目8単位以上含む） 24単位以上 (3) 必修の専門教育科目 28単位以上 2. TOEIC L&R又はTOEIC L&R IPスコアが400点以上であること (または「基礎英語実践演習」を2単位分修得すること)

(4) 既修得単位の認定

編入生が出身学校において修得した単位については、本学部の教育課程及び授業科目に照らし、書類審査、面接等による単位認定審査を行い、既に十分な学修成果を得ていると評価される場合は、本学部の単位を修得したものと認定します。

本学部環境数理学科の卒業要件単位数は124単位であり、第3年次編入生の既修得単位の認定の目安は下表のとおりです。

ただし、入学前の出身学校における専攻分野や単位修得した授業科目の内容等によっては、認定単位数が以下の目安よりも少なくなることがあり、場合によっては2年間での卒業が困難な場合もあります。

科 目 区 分	認 定 単 位 数 の 目 安
教養教育科目	最大認定単位数 29単位
専門教育科目	最大認定単位数 40単位

なお、既修得単位の認定には、講義概要（シラバス）、学生便覧等といった、出身学校のカリキュラムや授業内容についての資料の提出が必要になりますので、あらかじめ準備しておいてください。

※環境理工学部環境数理学科の開講科目の詳細は、岡山大学ホームページで確認することができます。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/binranindex.html>

岡山大学 → 学生生活 → 大学におけるルール → 学生便覧（学部規程、履修細則等）
（平成29年度の環境理工学部学生便覧の内容を参照してください。）

- (5) 募集要項を郵便で請求するときは、請求する封筒に必ず「平成31年度岡山大学環境理工学部第3年次編入学学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒〔角形2号（縦33cm×横24cm）に郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、205円分の切手を貼ってください。〕を同封の上、下記あて申し込んでください。

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学環境理工学部事務室 教務担当 電話 (086) 251-8815
--

1) 学位授与方針 (ディプロマポリシー)

人間が自然と調和し、豊かな環境を守るためには、環境に関わるさまざまな現象の解析が不可欠である。そのためには対象そのものに対する理解だけでなく、解析のための理論と技術を身につける必要がある。環境数理学科では、現象解析に必要な数学、統計学、計算科学のしっかりした基礎と幅広い応用能力を身につけた研究者、技術者などの人材を養成している。

この理念に基づく環境数理学科ディプロマポリシーは、学生が本学科を卒業するにあたって以下の学士力を習得したことを保証するものである。

幅広い教養と社会との関わり【教養】

自然科学、社会科学および人文科学に関する知識を幅広く習得し、多面的に考える能力と人間性に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。また、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響を考える能力を習得している。

専門における基礎と知識【専門性 1】

専門分野のための数理科学、自然科学、環境科学などのしっかりした基礎と幅広い知識を習得している。

数理科学の理論 (数学)【専門性 2】

偏微分方程式、力学系等の解析学、組み合わせ確率を始めとする確率論、群論や環論等の代数学、距離空間や複体等の幾何学などの数学の理論を習得している。

数理科学の理論 (計算科学)【専門性 3】

コンピュータを効率よく、また効果的に用いるために必要なプログラミング、数値解析、コンピュータシミュレーション、ビジュアライゼーションなどに関する理論と手法を習得している。

数理科学の理論 (統計学)【専門性 4】

数理統計学、計算機統計学、多変量解析学などの統計学の理論を習得している。

数理科学の応用【専門性 5】

数理科学の理論を環境問題などのさまざまな課題に適用するための方法を習得している。

問題解決力とそのための情報力【問題解決力と情報力】

専門に関する知識に基づいて課題を発見および設定し、数理的手法を用いて問題を解析し、得られたことを論文にまとめる能力を習得している。また問題解決のための情報収集・分析能力および的確に情報発信する能力を習得している。

コミュニケーション力とそれを活かした行動力【コミュニケーション力と行動力】

自らの考えを論理的に正しく構成し、それを正確に表現し、伝達する能力、および国際的コミュニケーションの基礎能力を習得し、それらを生かして社会の発展のために的確に行動できる。

継続的に学習し生涯に亘って自己実現する能力【自己実現力と継続的学習力】

卒業論文などにおける学習、分析、解析、実地調査、論文作成等を通じて、自主的及び継続的に学習し、生涯に亘って自己実現できる能力を習得している。

2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

人間が自然と調和し、豊かな環境を守るためには、環境に関わるさまざまな現象の解析が不可欠です。そのためには対象そのものに対する理解だけでなく、解析のための理論と技術を身につける必要があります。環境数理学科では、現象解析に必要な数学、統計学、計算科学のしっかりした基礎と幅広い応用能力を身につけた研究者、技術者を育成し、数学・統計学・コンピュータを強力な武器として環境予測や影響評価などの諸問題に取り組んでいます。

環境数理学科では、1年次ではガイダンス科目、外国語科目を含む教養教育科目、数学、統計学、計算科学、自然科学、環境科学などの専門基礎科目、および専門科目を開講しています。2年次は数学、計算科学、統計学の専門科目の割合が増え、高度な専門科目を履修するための基礎固めを行います。1, 2年次では、微分積分、線形代数をしっかりと履修すること、計算機実習を重視していること、また環境科学系専門基礎科目を4科目以上履修することなどがカリキュラムの特徴です。3年次では、2年次までに修得したことを踏まえて、数学、計算科学、統計学の高度な理論、およびこれらの学問の環境問題などへの応用を学びます。4年次では、それまで学習した理論、技術、知識をもとに卒業研究を行います。1年がかりで研究した成果を卒業論文の形でまとめ、さらに卒業論文発表会で発表します。

学科ディプロマポリシーにおける専門性に関する内容をバランス良く身につけるため、専門選択科目の重要な部分を科目群に分け、それぞれ必要単位数を決めて選択必修としています。各科目群は下の通りの通りです。

環境数理学科では、学科ディプロマポリシーにおける各目標を達成するために、以下のようにカリキュラム編成を行なっています。

幅広い教養と社会との関わり【教養】

- 多面的で幅広い教養を身につけ、さらに科学・技術のもたらす影響を考える能力を習得します。
- ・教養教育科目においては、導入教育、知的理解、言語、実践知・感性、汎用的技能と健康の各区分の科目、ならびに高年次教養教育科目を開講しています。
- ・専門基礎科目の一部は、教養を身につけさせるために開講しています。

専門における基礎と知識【専門性 1】

- 専門分野を学習するための、数理科学、自然科学、環境科学の基礎を習得します。
- ・専門分野のための数理科学、自然科学の基礎として、1年次および2年次の専門科目、基礎科学系専門基礎科目を開講しています。
- ・環境科学の基礎として、1, 2年次において環境科学系専門基礎科目を開講しています。

数理科学の理論(数学)【専門性 2】

- 専門科目における数学の理論を習得します。
- ・数学の専門理論の基礎の修得のため、2年次に必修専門科目およびA群の選択専門科目を開講しています。
- ・数学の進んだ理論の修得のために3年次のA群の選択専門科目を開講しています。

数理科学の理論(計算科学)【専門性 3】

- 専門科目における計算科学の理論と技術を習得します。
- ・計算科学の技術の修得のために、2年次において必修科目を開講しています。
- ・計算科学のさらに進んだ理論の習得のため、B群の選択専門科目を開講しています。

数理科学の理論(統計学)【専門性 4】

- 専門科目における統計学の理論を習得します。
- ・統計学の理論の修得のために、2年次において必修科目を開講しています。
- ・統計学の進んだ理論の習得のため、C群の選択専門科目を開講しています。

数理科学の応用【専門性 5】

数理科学の専門的内容の、環境問題等への応用力を習得します。

- ・数理科学の環境問題等への応用のために、3年次以降の応用系の専門科目、特にD群の選択専門科目を開講しています。
- ・数理科学の環境問題等への幅広い応用のために、3、4年次に集中講義で行う選択専門科目を開講しています。

問題解決力とそのための情報力【問題解決力と情報力】

専門の知識に基づいて課題を解決し論文にまとめる能力、さらにそのための情報収集・分析力を習得します。

- ・1年生のガイダンス科目ではグループ調査などで情報収集力、発表能力を養成します。
- ・計算科学系基礎科目の一部、B群、C群の選択専門科目、3年次の情報と職業などの科目で、情報力を養成します。
- ・4年次の卒業論文・情報課題研究で、専門分野に根ざした高度な問題解決力、情報力を養成します。

コミュニケーション力とそれを活かした行動力【コミュニケーション力と行動力】

コミュニケーション力とそれを活かした行動力を培います。

- ・教養教育科目の外国語科目において外国語コミュニケーション力を養成します。
- ・高年次教養教育科目や卒業論文等において、必要に応じて英語文献講読を行い、国際化に対応したコミュニケーション力を養成します。
- ・ガイダンス科目、卒業論文等において、日本語コミュニケーション能力を養成します。
- ・専門基礎科目等において実践型教育科目を開講しています。

継続的に学習し生涯に亘って自己実現する能力【自己実現力と継続的学習力】

生涯に亘って自主的、継続的に学習を続け、自己の成長を追求する姿勢を培います。

- ・教養教育科目において、スポーツ、文化に関する科目を開講しています。
- ・1、2年次においてキャリアに関する科目を開講しています。
- ・4年次の卒業論文等において、自主的・継続的に学習し生涯に亘って自己実現する能力を養成します。

その他

- ・少人数教育と実習を重視し、多くの演習科目を開講し、また学科専用の計算機実習室も用意しています。
- ・卒業論文・情報課題研究に対して履修するための要件を設定しています。
- ・1、2年次において、必修科目を含む科目群として基盤科目を設定し、授業内容と担当教員を毎年検討、運用しています。

(注) 専門選択科目における科目群

A群 線形代数III-(1, 2)、代数学基礎(1, 2)、代数学要論-(1, 2)、幾何学基礎(A, B)、幾何学要論(A, B)、確率論(1, 2)、フーリエ解析と偏微分方程式(1, 2)、力学系とモデリング(1, 2)

B群 計算解析(1, 2)、プログラミング言語B-(1, 2)、数値シミュレーションI-(1, 2)、数値シミュレーションII-(1, 2)

C群 計算統計学A-(1, 2)、計算統計学 B-(1, 2)、数理統計学II-(1, 2)、計量アナリシス(1, 2)

D群 偏微分方程式とその応用(1, 2)、環境アナリシス(1, 2)、環境情報モデル学(1, 2)、環境数理生物学(1, 2)、環境統計科学I-(1, 2)、環境統計科学II-(1, 2)